

日曜日 昭和三十五年五月十一日  
刊一十月三年五和昭  
発行所 昭和三十五年五月十一日  
発行所 昭和三十五年五月十一日

### 錦村小學校に於て 勞作教育研究講習

#### 石城地方としては珍しい催 講師は同教育の研究家揃

石城郡錦村小學校に於て六月一日二日の兩日開催される勞作教育研究講習會は同教育を専攻されてゐる左記の諸講師に指導演説されるもので何れも地方教育上に必須のものであるために主に學校教員の受講申込み多く講習生百余名に上るものゝ如くであるが同講習終了後に於て同村昭和和人社を見學される由である

### 町村農會長の初顔合 郡農會長以下改選

#### 來月七日招集に内定 諸橋氏會長重任決定的

(既報) 郡下町村農會の役員はは大体決定を見たが未だに赤井澤渡の兩村は總代會も開かず會長以下の役員も決定せず此のため郡農會の會長以下役員改選のため開かれる新町村農會長により組織される第一回の代議員會も招集出来ず當局は縣農會長の改選期日を目前にして苦慮してゐるが前記赤井澤渡兩村の紛争は可成りに深刻なものであり兩村の役員改選の如き當分は見込立ないものと見切りを付けた結果念々來る六月七日新町村農會長の初顔合せ代議員會を開き

### 下値模様

出荷四六九俵  
石城郡販聯に於ける來る六月一日の俵米共同販賣は左記四

### 農繁託兒所開設

#### 兒童三百名を收容 大浦四倉内郷三ヶ所に 十年度郷倉 割當決定

大浦最勝院以下郡下淨土宗各寺院主催の農繁無料託兒所は來る一日から三十日まで六月四中倉町三寶保育園、大浦村最勝院、内郷村御所阿彌陀寺の三ヶ所に開設一般農家の四才以上學齡までの兒童三百名を收容することになり既に受付を開始したが各方面で頗る好評

### 土を厭ふて女

#### 貯金三百圓を下げて家出 華かな都會生活に憧れて

石城郡箕輪村大字高野宇桐合農吉田徹二女(二ツネ)さんは昨二十九日午前四時頃家人の熟睡中自分名義の五百圓圓記の貯金通帳を持ち出して無断で家出行方を晦したもので八方捜査した結果平郵便局で即時拂三百圓を受けた事判明したがツネ子さんは農業を嫌ひ陸軍看護婦になりたいと口癖に言つて居り或はその足で東京に向つたのではないかと見られ父親から平署に捜査取押へ方を願ひ出た

### 女工重傷

#### 手指四本 バラバラに

平町大町中川製材工場女工根本トメ(三)は昨二十九日午後二時半頃製材作業中丸鋸にふれて右手小指一本を殘してバラバラに切断重傷を負つた

### 坑夫惨死

#### 内郷村大字宮前田磐城炭礦 住吉坑々夫武田政治(三)は二

### 國有林拂下入札

十九日午前十時頃入坑作業中後方から疾走して來た炭車に氣付かずはね飛ばされて即死

#### 平町土木委員會

平町の土木委員會は明三十一日午前十時から召集町道改修等を附議する

### 悲壯な少年の家出

#### 繼母に虐げられて 東京で成功し様と決心 無賃乗車で送り返さる

昨二十九日午後三時頃磐城線郡山驛着列車で下車した十二才の無礼少年があるのを改札掛が発見取り調べるると右は上遠野村大字日向農繁谷伊之松三男圓三(三)で二十六日家人に無断で家出湯本を経て平町まで徒歩で送り付き食糧をしながら郡山へ向つて出發途中貫ひ野めた金で川前村から夏井驛までの切符を買つて乗車したものと判明平驛まで送り返されたが家出の原因は繼母に虐められるので少年ながらも獨立して東京に出た上成功するまでは故郷に歸らない決心で家出したものであると

### 縣教育總集會

#### 同小學校長會

縣下教育會の總集會は來月十五、六兩日平町磐城中學校講堂に於て開催されるが之れに先立ち十三、四の兩日は双葉郡浪江町小學校に於て縣下小學校長會を開かれる由

### 古川視學

#### 教育視察

明日から八日間 縣學務部古川縣視學は郡下各小學校では來月四日のむし

### 虫歯豫防デー

#### 平町

各小學校では來月四日のむし

### 拾遺歌中題詞の「さ」は

#### 現今の湯本(三)町に懸く

(飯坂温泉元湯の靖湖に強引、建碑せるは無稽、不當の極み)

鮫川 刺史

### 家畜衛生

#### 講習會開催

縣獸醫師會では馬の繁殖障害並に一般家畜衛生に關する講習會を來る六月初旬上遠野村小學校で開催一般の來聴を歓迎してゐるが講師は農林省技師山本文雄、縣河原田技師の兩氏である

### 在岡獨歩

舍監生活ノ三  
講話を茶話會となる一刹那なごめる色の窓に漂よ  
おかしと悲しとて直感情のつぼたがらす若人を羨む  
職場より眼高朝食前  
夜々といそしむ寄宿生の友  
受持の酒掃終へて洗面に  
集ふ顔より寛るきの湯に  
寄宿舎の寂滅の中に唯一人  
文讀む子ありこの短か夜を

### 雑詠

露深き朝の朝なり用ひて  
事務所に入れば冷々とせる  
己が責務を終へし感しも  
食堂の卓を飾れる盛花の  
萎々たるが悲し省みませず

### 鮫川 刺史

「あかすして別る、人の住 三箱の湯に來遊して詠める一む里は、佐波古の見ゆる山の 種の戀歌を現代に遺すばかりあなたか」の名歌は、平安中 でなく、將た又實詠であらうの公選、貴族客が、みちのく が他所にあつての題詠であら

# 農業方面

堆肥講習問答

## 氷解集 (三)

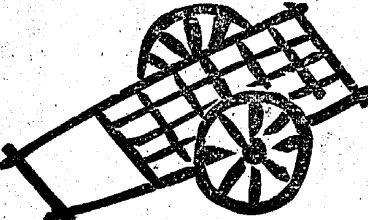
農試本場 内山生  
 其所で是れ等のもの、中何れを使用したならば肥効の多い堆肥が出来るかの問題であるが何れのものを使用しても凡てアンモニアとなつて後微生物に吸収利用されて一様に皆微生物の体細胞を形成するものであつて微生物の体に変化してからは材料の如何は何等関係はない、牛乳で育つた人工糞養分は牛の如く純重であるかと云ふに愚問に等しい、要は堆肥の中に微生物の体に変化しないでアンモニアとなつたままに存在する量の多少がその堆肥の部分的肥効(施用年次に現はれる肥効)の大小を律するのである、従つて堆肥の肥効の大小は熟度が同一であるならば添加した窒素含有量材料の多少によつて定まるのである、添加量が多いほどアンモニアの形のままで残る量も多く従つて一次的肥効も高い譯である、只こゝで注意すべきは添加量が多ければ堆肥期間中も施用時期等にも窒素分の損失する量が相當多くなるものであるから加へる分量には自から制限が必要である事となる損失最も少なく且つ醗酵も迅速な程度を分量以内で添加して置くべきである、價格の低廉なものは前記の諸材料中最も安いもの又は無償で自ら供給し得る材料を採ればよいことになる、

## 牛も豚も優良品の自慢

肉の御 用命は **三三三屋** 平町 田町

平町	正し	正し	正し	る	食事	しづ
田町	しい	しい	しい		の	かに
レストラン	酒	喫	食		出	
サロン	場	茶	堂		来	

## 貸手車

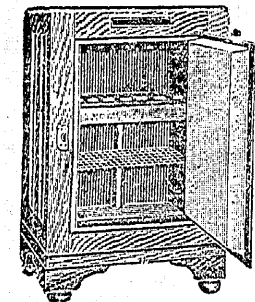


平町大町若松醫院隣

産科 婦人科 院長 木村寅次郎  
 外科 醫學博士 内木宗八  
 薬局 薬剤師 立蕃彌一

平町新川町九一  
 入院隨意 木村病院  
 病室完備 電話一六四番

冷却力が永久に衰へず  
 いつまでも使へる冷蔵庫  
 冷蔵庫は一と夏や二と夏で構造に狂ひが来て冷へ方が弱る様では眞の文化的重寶と云はれません、其所で木材を最も嚴密しそれを完全なる設備の下に数年間十二分に乾燥して使用する、丸はん冷蔵庫は絶対に狂ひを生ぜず永久によく冷へる經濟的冷蔵庫として御愛用の皆様の間に古くから多大の御信用を博して居ります。



岩谷冷蔵庫の代理店も致して居ります

丸はん冷蔵庫 平町三丁目 電話三五九

## 近代趣味 パラソル豊富陳列

ツルヤ 電話一四〇

## 耳鼻咽喉科専門

醫學士 鈴木正男  
 平町田町(電話五八番)藤田女學校前  
 入院應需 鈴木醫院

## 診療科目

- 一、齒科 一般
- 一、保存科 補綴科 繼齒架工科
- 一、齒列矯正科 小兒齒科 齒槽膿漏科
- 一、口腔外科
- 一、レントゲン科

## 中野齒科醫院

院長 日本齒科 醫學士 中野惠次  
 醫學士 西川誠  
 平町田町(松月堂向ひ) 電話五〇九番

磐城名産 酒銘  
 美味經濟 油普ルマヤ  
 社會名合崎山 香十話電

新時代の要求  
 附屬事業に等外看護婦部を特設いたし皆様の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します

## 平看護婦會

平町南町 電話三〇七  
 會長 清野キヨ  
 御手不足の御家庭輕い御病人の付添妊婦産婦の御家庭

## (磐城共濟病院) 福島縣平町電六四一

内科 院長 醫學士 石山謙一郎 (電話三七〇番)  
 小兒科 醫學士 五十嵐雄二 (電話三七〇番)  
 産婦人科 醫學士 大町久藏 (電話三七〇番)  
 外科耳鼻咽喉科 醫學士 山澤正  
 皮膚泌尿科 醫學士 山澤正  
 齒科 醫學士 石山謙一郎  
 衛生試驗所 技師 高石山  
 藥局 藥劑師 鈴木本寶  
 事務局長 鈴木本寶  
 (毎日午前八時より午後十時迄診療) 病室完備 入院隨意

## マグネトロン

百萬の富より健康  
 此新療法で病弱を御試しなさい  
 『治療代』は當分一回三十錢として居りますが御家庭の事情により割引も施療も致します  
 嘘か實か百聞一見御試し下さい  
 治療所 日中は 城山藥園(電話一〇九) 日没後は二丁目自宅(電話四七〇)  
 醫療士 飯田近治

金網承和  
 優良廉價  
 三三三屋  
 平町田町